

*Program and Abstracts*  
*of*  
*The 47th Annual Meeting of the Japanese Society for Medical Mycology*  
*Tokyo, October 16–17, 2003*

第 47 回  
日 本 医 真 菌 学 会 総 会  
プ ロ グ ラ ム ・ 抄 録 集

総会事務局  
**Conference Secretariat**

総会前：日本大学生物資源科学部獣医学科獣医臨床病理学研究室  
Department of Pathobiology,  
Nihon University School of Veterinary Medicine  
〒252-8510 神奈川県藤沢市亀井野 1866  
1866 Kameino, Fujisawa, Kanagawa 252-8510, JAPAN  
TEL 0466-84-3649  
FAX 0466-84-3649  
E-mail: kano@brs.nihon-u.ac.jp

総会当日：第一ホテル東京  
Venue： Daiichi Hotel Tokyo  
〒105-8621 東京都港区新橋 1-2-6  
1-2-6 Shinbashi, Minato-ku, Tokyo 105-8621, JAPAN  
TEL 03-3501-4411

## 第47回 日本医真菌学会総会

会 長 長谷川 篤彦 日本大学生物資源科学部  
期 日 平成15年10月16日(木), 17日(金)  
会 場 第一ホテル東京  
〒105-8621 東京都港区新橋1-2-6  
TEL 03-3501-4411

A 会場 会務総会, 会長講演, 特別講演 (1, 2), シンポジウム (1, 3),  
(5F ラ・ローズ) 一般演題 (口演), ランチョンセミナー (1, 3),  
ラウンドテーブルディスカッション, 懇親会

B 会場 シンポジウム (2, 4), 教育講演, 一般演題 (口演),  
(4F プリマヴェーラ) ランチョンセミナー (2, 4), イブニングセッション

ポスター会場 一般演題 (ポスター)  
(4F フローラ, コスモス)

### 会務総会

#### Business Meeting

期 日 平成15年10月16日 (木) 8:30~9:30  
会 場 第一ホテル東京 (A 会場)  
Daiichi Hotel Tokyo (A Hall)

### 懇親会

#### Welcome Party

期 日 平成15年10月16日 (木) 18:00~20:00  
会 場 第一ホテル東京 (A 会場)  
Daiichi Hotel Tokyo (A Hall)  
〒105-8621 東京都港区新橋1-2-6  
1-2-6 Shinbashi, Minato-ku, Tokyo 105-8621, JAPAN  
TEL 03-3501-4411

## 日本医真菌学会総会の会長と開催地

回数	開催年度	会長	開催地	回数	開催年度	会長	開催地
第1回	昭和32年	堂野前 維摩郷 (阪大)	東京都	第31回	昭和62年	高橋 久 (帝京大)	東京都
第2回	昭和33年	北村 包彦 (東大)	東京都	第32回	昭和63年	佐藤 良夫 (新潟大)	新潟市
第3回	昭和34年	青山 進午 (名大)	名古屋市	第33回	平成元年	名嘉真 武男 (琉球大)	那覇市
第4回	昭和35年	秋葉 朝一郎 (東大)	東京都	第34回	平成2年	山口 英世 (帝京大)	神奈川県 中郡大磯町
第5回	昭和36年	高橋 吉定 (東北大)	仙台市	第35回	平成3年	鈴木 茂生 (東北薬大)	仙台市
第6回	昭和37年	土屋 毅 (順大)	東京都	第36回	平成4年	利谷 昭治 (福岡大)	福岡市
第7回	昭和38年	大原 一枝 (関西医大)	大阪市	第37回	平成5年	中嶋 弘 (横浜市大)	横浜市
第8回	昭和39年	樋口 謙太郎 (九大)	福岡市	第38回	平成6年	発地 雅夫 (信州大)	松本市
第9回	昭和40年	野口 義圀 (横浜市大)	横浜市	第39回	平成7年	西川 武二 (慶應大)	東京都
第10回	昭和41年	岩田 和夫 (東大)	東京都	第40回	平成8年	宮治 誠 (千葉大)	千葉市
第11回	昭和42年	阿多 實茂 (名大)	名古屋市	第41回	平成9年	野澤 義則 (岐阜大)	岐阜市
第12回	昭和43年	福代 良一 (金沢大)	金沢市	第42回	平成10年	渡邊 一功 (順大)	東京都
第13回	昭和44年	水野 重光 (順大)	東京都	第43回	平成11年	篠田 孝子 (明治薬大)	東京都
第14回	昭和45年	藤野 恒三郎 (阪大)	大阪市	第44回	平成12年	西本 勝太郎 (長崎市民病院)	長崎市
第15回	昭和46年	三浦 修 (日大)	東京都	第45回	平成13年	直江 史郎 (東邦大)	東京都
第16回	昭和47年	三浦 祐晶 (北大)	札幌市	第46回	平成14年	小川 秀興 (順大)	東京都
第17回	昭和48年	伊藤 友喜 (岐阜大)	岐阜市	第47回	平成15年	長谷川 篤彦 (日大)	東京都
第18回	昭和49年	新井 正 (千葉大)	千葉市				
第19回	昭和50年	上坂 一郎 (京大)	京都市				
第20回	昭和51年	宮崎 寛明 (順大)	東京都				
第21回	昭和52年	螺 良英郎 (徳島大)	徳島市				
第22回	昭和53年	澤崎 博次 (関東通信病院)	東京都				
第23回	昭和54年	香川 三郎 (東京医歯大)	東京都				
第24回	昭和55年	占部 治邦 (九大)	福岡市				
第25回	昭和56年	池本 秀雄 (順大)	東京都				
第26回	昭和57年	深澤 義村 (山梨医大)	甲府市				
第27回	昭和58年	渡辺 昌平 (滋賀医大)	大津市				
第28回	昭和59年	奥平 雅彦 (北里大)	横浜市				
第29回	昭和60年	松崎 統 (国立別府病院)	別府市				
第30回	昭和61年	高橋 伸也 (秋田大)	秋田市				

## 第47回 日本医真菌学会総会開催にあたって

第47回 日本医真菌学会総会

会 長 長谷川 篤 彦

(日本大学生物資源科学部)

第47回日本医真菌学会総会を、平成15年10月16日(木)、17日(金)の両日、東京・港区『第一ホテル東京』に於いて開催することとなりましたのでご案内申し上げます。

本学術総会は、日本医真菌学会の公式行事として毎年1回開催致しており、学会の主催する最大規模の最も重要な学会で、日本医学会分科会として46回の歴史を重ねております。本総会は、医学をはじめ獣医学、歯学、薬学、理学、農学、栄養学、水産学、食品微生物学など極めて多岐にわたる専門領域の研究者が参加して開催され、最新情報の紹介をはじめ先端的諸問題について活発な議論が交わされ、国際的にも高く評価されております。

今回、第47回日本医真菌学会総会の会長をお引き受けすることとなりました。本総会を実り豊かなものにし、医真菌学領域の学術を発展させ、「明日の医療を拓く」端緒となることを祈念致しております。

特別講演として、オランダ・CBSのR. Summerbell博士およびアメリカ合衆国・UCLAのS.G. Filler博士にそれぞれの専門領域における研究の発展状況を紹介していただきます。また、シンポジウム4題、ラウンドテーブルディスカッション1題を計画いたしました。

今回から新しい試みとして、インターネットによる演題募集などを行いました。

本会開催に当たり、日本医真菌学会の会員はもとより広く非会員の方々にも多数ご参加が頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

# 第47回 日本医真菌学会総会 プログラム日程一覧表

第1日 (10月16日・木)

	5 F		4 F	
	ラ・ローズ A 会場	ホワイト	プリマヴェーラ B 会場	フローラ コスモス ポスター会場
8:00	開場	総合受付	開場	開場
8:30				
9:00	会務総会			
9:30	会長講演 長谷川篤彦, 座長: 高橋 久		企業展示	
10:00	特別講演 1 Summerbell, R. 座長: 小川秀興			
11:00	特別講演 2 Filler, S.G. 座長: 野澤義則			
12:00	LS-1 ランチョンセミナー 1 座長: 坪井良治 (ノバルティスファーマ)			
13:00				
14:00	SI シンポジウム 1 [皮膚科領域] 座長: 渡辺晋一 坪井良治			一般演題 (ポスター)  P-B-1~23 P-D-1~39 P-G-1~31
15:00				
16:00				
17:00				
18:00				
19:00	懇親会			
20:00				

第2日 (10月17日・金)

	5 F		4 F			
	ラ・ローズ A 会場	ホワイト	プリマヴェーラ B 会場	フローラ	コスモス	
				ポスター会場		
8:00	開場	総合受付	開場	開場		
8:30	プレナリー PL-1~3					
9:00						
10:00	一般演題 1 (口演)  O-B-1~18		企業展示	一般演題 2 (口演)  O-D-1~18	一般演題 (ポスター) P-B-1~23 P-D-1~39 P-G-1~31	
11:00						
12:00	LS-3 ランチョンセミナー 3 座長: 原田敬之 (合同企画)			LS-4 ランチョンセミナー 4 座長: 滝内石夫 (エスエス製薬)		
13:00						
14:00	R ラウンドテーブル ディスカッション 座長: 前田伸子 山口英世				ポスターセッション	
15:00						
16:00	S III シンポジウム 3 [深在性真菌症ガイドライン] 座長: 河野 茂 森 健			S IV シンポジウム 4 [創薬] 座長: 八木澤守正 二木芳人	ポスター撤去	
17:00						
18:00	閉会式 表彰式 プレナリー ポスター					
19:00						
20:00						

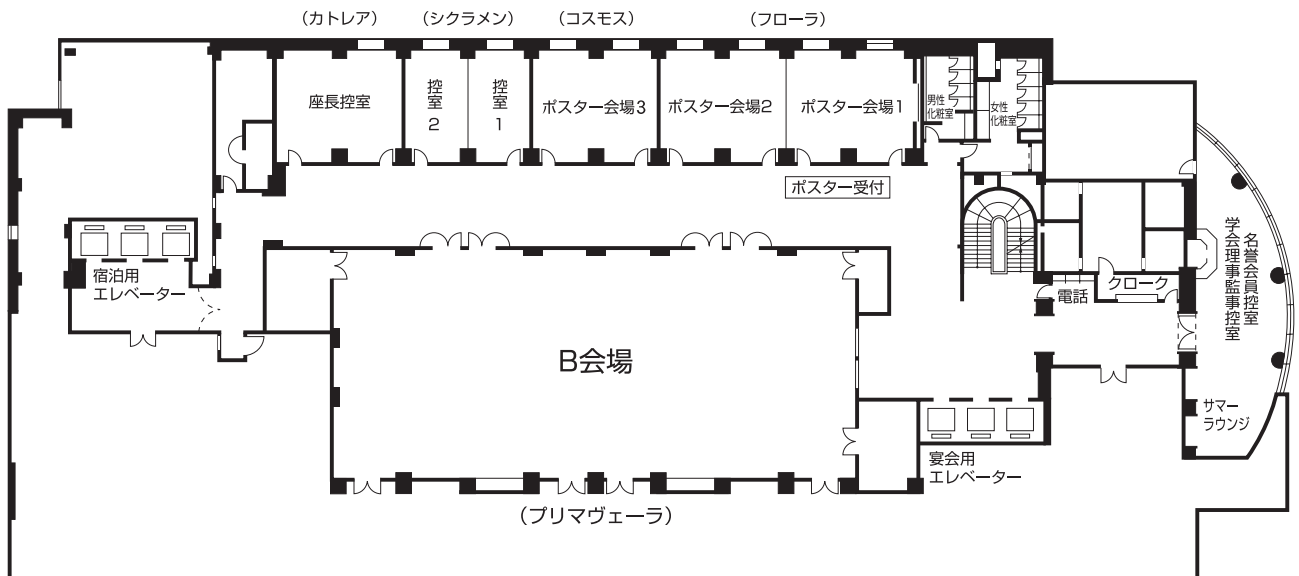




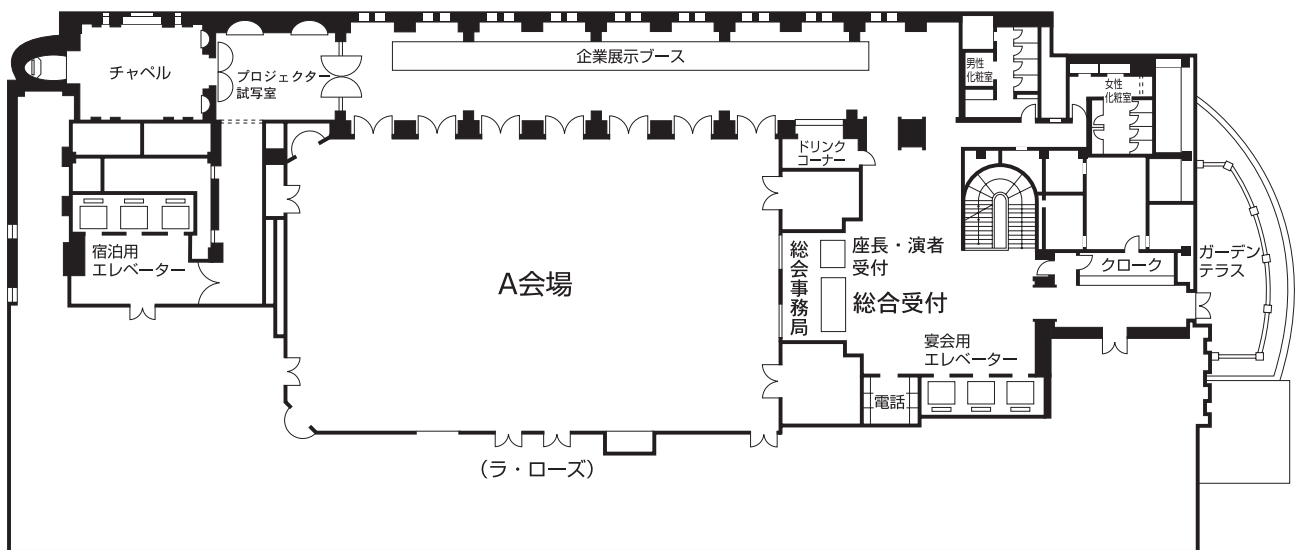
# 会場案内

## 第一ホテル東京

4F 10月16日・17日



5F 10月16日・17日



## お知らせとお願い

### A. 参加者の方へ

開場時間：10月16日（木）・17日（金）共に午前8時です。

参加費（懇親会費を含む）：当日、総会会場受付でお支払い下さい。

学会会員 15,000円

非会員 17,000円

学生、外国人留学生（所属機関代表者の証明書を持参のこと）

7,000円

受付：「第一ホテル東京」5F ホワイエで行います。総合受付で登録し、参加費をお支払いのうえ、ネームプレートをお受け取り下さい。ネームプレートには所属、氏名を記入し、会場で必ずお付け下さい。

抄録集：必ずご持参下さい。会場で購入される場合は1部1,000円です。

懇親会：第一ホテル東京5F「ラ・ローズ」において、第1日目（10月16日）午後6時より行います。

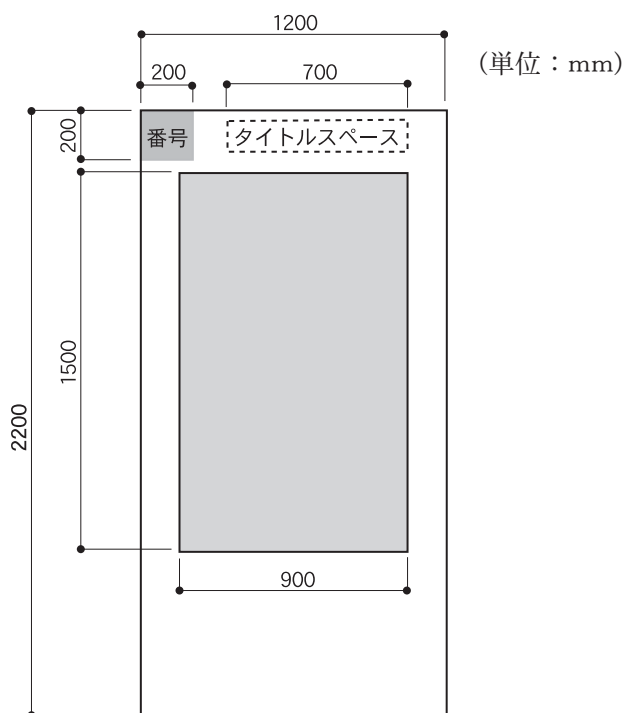
### B-1. 特別講演、シンポジウム、ラウンドテーブルディスカッション、教育講演、ランチョンセミナー、イブニングセッション、および一般口演の演者の先生方へ

- (1) 講演時間は座長の指示に従って下さい。一般口演発表は7分で、討論は2分です。
- (2) 講演は、コンピューターと液晶プロジェクターでのプレゼンテーションとなります。
- (3) プレゼンテーションは、マイクロソフト社のPowerPointで作成して下さい。
- (4) 使用できるフォントは、MS明朝、MSゴシック、Times New Romanの3種です。これ以外のフォントや特殊文字を使用すると正常に表示されないことがあります。
- (5) データは、MO（128、230、640MBまで）かCDに保存して下さい。
- (6) データは、講演の1時間前までに、プロジェクター試写室（5F）にお持ち下さい。
- (7) 総会が準備したWindows機で出力しますので、OSや機種に特異的な特殊効果などは使用しないで下さい。また、Macintoshでデータを作成された場合は、試写の際にWindows用のファイルに変換しますので、早めに受付へおいで下さい。
- (8) 上記の条件に合うデータの作成が困難な場合は、ある程度までは総会でお手伝いしますので、至急総会事務局までご連絡下さい。

本年は**35mm** スライドは使用できませんので、ご注意ください  
(すべてコンピューターと液晶プロジェクターです)。

## B-2. ポスター発表の先生方へ

- (1) 会場内に演題番号のついたパネル板を用意いたします。タイトル用スペース（演題名、演者名、所属）は70cm×20cm、本文用スペースは90cm×150cmとして下さい（下図参照）。
- (2) ピンは当日会場に用意いたします。
- (3) 1日目（10月16日）の午前10時までに貼付して下さい。また、2日間連続で展示して下さい。
- (4) ポスターセッションは2日目の午後1時～3時に行いますので、発表者はパネルの前で待機して下さい。本総会では、ポスター発表の内容に関しては座長の指示に従って討論して下さい。
- (5) ポスターはセッション終了後、午後4時までに撤去して下さい。



## B-3. ポスター発表の座長の先生方へ

- (1) 指定時間内にすべての討論が終了するように進行して下さい。
- (2) 個々の演題について発表者の説明は予定しておりませんので、適宜ご討議をお願いいたします。

## C. 講演原稿の提出について

特別講演、シンポジウム、ラウンドテーブルディスカッション、教育講演等につきましては、講演内容をまとめた総説を後日、日本医真菌学会雑誌に掲載致しますので、演者は15年11月末日までに下記宛原稿の提出をお願いします。

### ◆原稿の送付先

〒260-8673 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1  
千葉大学真菌医学研究センター内  
日本医真菌学会編集部  
TEL. 043-222-7171 Ext. 5916  
FAX. 043-226-2486

#### D. 皮膚科の先生方へ

本会出席者には皮膚科専門医制度後実績 6 単位が認められます。受付で記帳後、受講証をお受け取り下さい。

#### 感染症認定医の先生方へ

日本感染症学会による感染症認定医更新時の実績として、本会出席者には 3 単位、演者にはさらに 3 単位が認められます。なお、更新時には参加証が必要になります。

#### 薬剤師の先生方へ

日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の認定対象研修会であり、6 単位が認められます。受付で研修受講シールをお受け取り下さい。

#### E. その他

1. 会場内の呼び出しは原則としてお断りします。受付付近に伝言板を用意いたしますので、ご利用下さい。緊急の場合の呼び出しは総合受付にお申し出下さい。
2. 会場内では、携帯電話はマナーモードにし、通話をご遠慮下さい。
3. 館内では指定された場所以外での喫煙、飲食は禁止されていますので、ご協力をお願いいたします。

## 理事会, 評議員会, 各種委員会

期 日 平成15年10月15日 (水) 午後 (総会前日)

会 場 第一ホテル東京 4F  
Daiichi Hotel Tokyo  
〒105-8621 東京都港区新橋 1-2-6  
1-2-6 Shinbashi, Minato-ku, Tokyo 105-8621 JAPAN  
TEL 03-3501-4411

12:00	受付開始 (4F)
12:30	
14:00	各種小委員会 (4F)
14:30	
16:00	理事会 (4F プリマヴェーラ)
16:30	
18:00	評議員会 (4F プリマヴェーラ)

# 第47回 日本医真菌学会総会プログラム

## 『明日の医療を拓く医真菌学』

### 会 長 講 演

A 会場

10月16日 (木) 9:30~10:00

座 長：高橋 久 (帝京大・名誉教授)

人と動物と真菌と

長谷川篤彦 (日大・生物資源・獣医臨床病理)

### 特 別 講 演

A 会場

10月16日 (木) 10:00~11:00

座 長：小川秀興 (順天堂大・医・皮)

講演1 **Molecular Resolution of the True Relationships of Morphologically Simplified, Medically Important Members of the Genera *Fusarium* and *Acremonium***

Richard Summerbell (Centraalbureau voor Schimmelcultures,  
Anamorphs of ascomycetes; ecology)

10月16日 (木) 11:00~12:00

座 長：野澤義則 (岐阜国際バイオ研)

講演2 **Identification of an Endothelial Cell Receptor for *Candida albicans***

Scott G. Filler  
(Harbor-UCLA Research and Education Institute, Torrance, CA and Children's  
Hospital of Los Angeles, Los Angeles, CA).

### 教 育 講 演

B 会場

10月16日 (木) 15:00~17:00

座 長：原田敬之 (東京女子医大第2・皮)

加賀谷けい子 (山梨生物医学研)

ES-1 Reduced-intensity stem-cell transplantation (RIST) における真菌感染症

上 昌広 (国立がんセンター中央病院・薬剤治療)

ES-2 救急/集中治療領域における深在性真菌症の診断と治療

田中秀治, 後藤英昭 (杏林大・高度救命救急センター・熱傷センター),  
榊 聖樹 (同・救急医学)

## シンポジウム 1

A 会場

### 皮膚科領域における抗真菌剤治療のトピックス －皮膚真菌症の病態と抗真菌薬の新展開－

10月16日 (木) 13:00～15:00

座 長：渡辺晋一 (帝京大・医・皮)  
坪井良治 (東京医大・皮)

- S I-1 抗真菌剤による脂漏性皮膚炎, アトピー性皮膚炎, その他の皮膚疾患の治療の現状と問題点  
比留間政太郎 (順天堂大・医・皮)
- S I-2 サイトカイン産生からみた皮膚真菌症の病態  
加納 塁 (日大・生物資源・獣医臨床病理)
- S I-3 The Immunomodulatory Effects of Antimycotic Agents  
神田奈緒子, 渡辺晋一 (帝京大・医・皮)
- S I-4 イトラコナゾール・パルス療法の至適用法  
渡辺晋一 (帝京大・医・皮)

## シンポジウム 2

B 会場

### 分子生物学の役割

10月16日 (木) 13:00～15:00

座 長：楨村浩一 (帝京大・医真菌研)  
杉田 隆 (明治薬大・微生物)

- S II-1 DNA 塩基配列解析による病原真菌の分類・同定  
杉田 隆 (明治薬大・微生物), 西川朱實 (同・免疫生物)
- S II-2 診断・疫学  
楨村浩一 (帝京大・医真菌研)
- S II-3 薬剤耐性遺伝子のパン酵母における発現と機能解析  
新見昌一 (国立感染症研・生物活性)
- S II-4 真菌アレルギーー アレルゲンのクローニングと組換えアレルゲンの診断への応用ー  
安枝 浩, 竹内保雄 (国立相模原病院・臨床研究センター)

### シンポジウム 3

A会場

#### 深在性真菌症におけるガイドラインをふまえた今日の臨床

10月17日 (金) 15:00～17:00

座 長：河野 茂 (長崎大・医・内)  
森 健 (順天堂大・医・血液内)

- S III-1 深在性真菌症診療の現在と未来  
河野 茂 (長崎大・医・内)
- S III-2 好中球減少患者における診療指針  
吉田 稔 (帝京大溝口病院・4内)
- S III-3 非好中球減少患者における課題  
竹末芳生 (広島大・医・外)
- S III-4 HIV 感染症における特殊性  
岡 慎一, 照屋勝治 (国立国際医療センター・感染症)
- S III-5 移植医療における深在性真菌症  
木内哲也 (名古屋大・医・移植外科, 同・病態外科)

### シンポジウム 4

B会場

#### 新時代の創薬

10月17日 (金) 15:00～17:00

座 長：八木澤守正 (日本抗生物質学術協議会)  
二木芳人 (川崎医大・呼吸器内)

- S IV-司会の言葉 新時代の創薬  
八木澤守正<sup>1</sup>, 二木芳人<sup>2</sup> (<sup>1</sup>日本抗生物質学術協議会, <sup>2</sup>川崎医大・呼吸器内)
- S IV-1 新規抗真菌薬の探索研究  
八木澤守正 (日本抗生物質学術協議会)
- S IV-2 抗真菌薬の創薬における前臨床薬効評価の現状と課題  
内田勝久, 山口英世 (帝京大・医真菌研)
- S IV-3 皮膚科領域における臨床試験  
西本勝太郎 (掖済会長崎病)
- S IV-4 内科領域の臨床試験  
二木芳人 (川崎医大・呼吸器内)



SIV-5 抗真菌薬の研究開発戦略

福岡 隆 (三共株式会社・研究推進部)

ラウンドテーブルディスカッション  
口腔カンジダ症の問題を探る

A 会場

10月17日 (金) 13:00~15:00

座長: 前田伸子 (鶴見大・歯・微生物)

山口英世 (帝京大・医真菌研)

R-1 *Candida albicans* と *C. dubliniensis* の口腔からの検出率および生物学的特性

大島朋子, 前田伸子 (鶴見大・歯・微生物)

R-2 マウス口腔カンジダ症モデルの開発とその応用

安部 茂 (帝京大・医真菌研)

R-3 再発性カンジダ性舌炎の基礎と臨床

佐藤田鶴子 (日本歯科大・口腔外)

R-4 カンジダの侵襲から要介護高齢者をまもるー歯科臨床の立場からー

柿木保明 (国立療養所南福岡病院・歯)

ランチョンセミナー 1

A 会場

もはや傍観は許されない: *Trichophyton tonsurans* 感染症流行の現状と対策

10月16日 (木) 12:00~13:00

座長: 坪井良治 (東京医大・皮)

LS-1-司会の言葉 *Trichophyton tonsurans* 感染症流行の現状とその対策

坪井良治 (東京医大・皮)

LS-1-1 本邦での *T. tonsurans* 感染症の様相の変化

望月 隆 (金沢医大・皮)

LS-1-2 *T. tonsurans* の分子系統学的位置付けと遺伝子診断

楨村浩一 (帝京大・医真菌研)

LS-1-3 千葉県下の高校柔道部員に集団発生した *T. tonsurans* による白癬の疫学とその拡大防止対策

高橋容子<sup>1,2</sup>, 西村和子<sup>2</sup> (1きさらづ皮膚科, <sup>2</sup>千葉大・真菌センター)

LS-1-4 *T. tonsurans* による白癬の臨床上の問題点と宮城県下に於ける取り組み

笠井達也 (笠井皮膚科)

LS-1-5 *T. tonsurans* 感染症に対する調査用紙と hairbrush 法を用いた簡易調査法の試み  
比留間政太郎 (順天堂大・医・皮)

LS-1-特別発言 *T. tonsurans* 感染症に対する柔道界における啓蒙の状況および柔道選手の意識調査  
廣瀬良伸 (順天堂大・スポーツ健康科学部)

(共催：ノバルティスファーマ)

ランチョンセミナー 2  
深在性真菌症における真菌と抗真菌薬の戦い

B 会場

10月16日 (木) 12:00~13:00

座 長：渡邊一功 (順天堂大・医)

LS-2-1 深在性真菌症における真菌と抗真菌薬の戦い

宮崎義継, 河野 茂 (長崎大学大学院・感染分子病態学 (第二内))

(共催：藤沢薬品)

ランチョンセミナー 3  
日本医真菌学会作成の外用抗真菌剤の治験ガイドラインについて

A 会場

10月17日 (金) 12:00~13:00

座 長：原田敬之 (東京女子医大第2・皮)

LS-3-1 外用抗真菌薬の臨床評価ガイドライン (案)

渡辺晋一 (帝京大・医・皮)

LS-3-2 外用抗真菌薬の臨床評価ガイドライン～治験依頼者の立場から

北川雅一 (株式会社ツムラ・開発本部)

(共催：合同企画)

ランチョンセミナー 4  
動物の真菌症

B 会場

10月17日 (金) 12:00~13:00

座 長：滝内石夫 (昭和大・藤が丘病院・皮)

LS-4-1 魚介類の不完全菌類に原因する真菌症

畑井喜司雄 (日本獣医畜産大・魚病学)

LS-4-2 犬のマラセチア皮膚炎

岩崎利郎（東京農工大・家畜内科学）

（共催：エスエス製薬）

イブニングセッション  
私と医真菌学

B 会場

10月16日（木）17：00～18：00

座長：直江史郎（東邦大・大橋病院）

IS-1 私と医真菌学

奥平雅彦（北里大・名誉教授）

IS-2 私と医真菌学

香川三郎（東京医歯大・名誉教授）

（共催：ヤンセンファーマ）

会 務 総 会

A 会場

10月16日（木）8：30～9：30

会務総会

第一ホテル東京

◆企業展示出展社名（順不同）

株式会社科薬

安井器械株式会社

アプライドバイオシステムジャパン株式会社

持田製薬株式会社

株式会社学窓社

株式会社スリービー

ノバルティスファーマ株式会社

生化学工業株式会社

富士レビオ株式会社

ポーズ株式会社

有限会社医学出版サービス

## 一般演題（口演発表）

第2日目 10月17日（金）

9：00～12：00

プレナリー（8：30～9：00）

5F A会場

座長：西村和子（千葉大・医真菌センター）

- PL-1 過去10年間に本邦で臨床材料から分離された病原性放線菌および *Nocardia* の再同定について  
○矢沢勝清, 影山亜紀子, 星野泰隆, 三上 襄（千葉大・真菌センター）
- PL-2 *Candida guilliermondii* および *Candida famata* のテレオモルフ属の多遺伝子解析による系統分類  
○鈴木基文<sup>1</sup>, 中瀬 崇<sup>2</sup>  
（<sup>1</sup>理研・生物基盤, <sup>2</sup>BIOTEC, Thailand）
- PL-3 *Arthroderma benhamiae* における交配試験と ITS 領域の塩基配列による系統関係の不一致  
○望月 隆, 河崎昌子, 田邊 洋, 石崎 宏（金沢医大・皮）

基礎医学・内科学（9：00～12：00）

5F A会場

（9：00～10：10 O-B-1～O-B-7）

座長：伊藤 章（横浜市立大附属病院・臨検）

斧 康雄（帝京大・医・微生物）

- O-B-1 アスペルギルス症原因菌の土壌中での分布  
○堀江義一<sup>1</sup>, 西村和子<sup>2</sup>, 福島和貴<sup>2</sup>, Paride Abliz<sup>3</sup>, Yan Hui<sup>3</sup>, Ruoyu Li<sup>4</sup>,  
G.M. Campos Takaki<sup>5</sup>, Kaoru Okada<sup>5</sup>  
（<sup>1</sup>千葉県立中央博, <sup>2</sup>千葉大・真菌センター, <sup>3</sup>新疆医大・中国, <sup>4</sup>北京大・中国,  
<sup>5</sup>UNICAP・Brazil）
- O-B-2 血液疾患患者における非アスペルギルス糸状菌による侵襲性口内炎  
ーイトラコナゾール予防投与患者に発症した2例ー  
○明見能成<sup>1</sup>, 勝 正和<sup>2</sup>, 三上 襄<sup>2</sup>  
（<sup>1</sup>広島日赤・歯口外, <sup>2</sup>千葉大・真菌センター）
- O-B-3 アレルギー性真菌性副鼻腔炎の1例  
○田口勝二<sup>1</sup>, 川畑智子<sup>1</sup>, 若山 恵<sup>1</sup>, 大原関利章<sup>1</sup>, 横内 幸<sup>1</sup>, 高橋 啓<sup>1</sup>, 直江史郎<sup>1</sup>,  
大越俊夫<sup>2</sup>, 岩渕 聡<sup>3</sup>, 渋谷和俊<sup>4</sup>, 西村和子<sup>5</sup>  
（<sup>1</sup>東邦大・大橋・病理, <sup>2</sup>同・第二耳鼻, <sup>3</sup>同・第二脳外, <sup>4</sup>同・大森・病理,  
<sup>5</sup>千葉大・真菌センター）
- O-B-4 拡張気管支や空洞に分生子頭形成を認めた肺アスペルギルス症  
木村雅友（近畿大・医・病理学）

- O-B-5 フロースルー法を応用した血中抗アスペルギルス抗体測定を試み  
 ○吉田耕一郎<sup>1</sup>, 二木芳人<sup>1</sup>, 菅家 太<sup>2</sup>, 森 健<sup>3</sup>, 松島敏春<sup>1</sup>  
 ( <sup>1</sup>川崎医大・呼内, <sup>2</sup>和光純薬, <sup>3</sup>順天堂大・医・血内)
- O-B-6 本邦におけるアレルギー性気管支肺アスペルギルス症 (ABPA) の Restrictocin 特異的 IgE 抗体測定の有用性の検討  
 ○竹内保雄<sup>1</sup>, 谷口正実<sup>1</sup>, 齋藤明美<sup>1</sup>, 安枝 浩<sup>1</sup>, 高鳥浩介<sup>2</sup>, 槇村浩一<sup>3</sup>, 山口英世<sup>3</sup>, 秋山一男<sup>1</sup>  
 ( <sup>1</sup>国立相模原病・臨床研究センター, <sup>2</sup>国立医薬品食品衛研・衛生微生物, <sup>3</sup>帝京大・医真菌研)
- O-B-7 血液疾患に合併した真菌症の3例  
 ○有高奈々絵, 森 健, 山田古奈木, 高橋まゆみ, 小原共雄, 宮崎忠博  
 (順天堂大・医・血液内科)

(10 : 10 ~ 11 : 20 O-B-8 ~ O-B-14)

座 長 : 安部 茂 (帝京大・医真菌研)

西川朱實 (明治薬大・免疫生物)

- O-B-8 腹膜透析患者の *Candida parapsilosis* による重症腹膜炎にミカファンギンの投与が奏効した一例  
 ○橋本ヒロコ<sup>1</sup>, 守屋利佳<sup>1</sup>, 羽村素子<sup>1</sup>, 牧野武志<sup>1</sup>, 佐野 隆<sup>1</sup>, 竹内康雄<sup>1</sup>, 坂本尚登<sup>1</sup>, 鎌田貢壽<sup>1</sup>, 東原正明<sup>1</sup>, 吉田一成<sup>2</sup>, 久米 光<sup>3</sup>  
 ( <sup>1</sup>北里大・医・内科IV, <sup>2</sup>同・医・泌尿器, <sup>3</sup>同・医・病理)
- O-B-9 *Candida* 症血清学的診断法の改良 (続報)  
 ○鈴木茂生<sup>1</sup>, 小林秀光<sup>2</sup>, 柴田信之<sup>3</sup>, 大川喜男<sup>3</sup>  
 ( <sup>1</sup>仙台真菌研, <sup>2</sup>九州女子大・家政, <sup>3</sup>東北薬大・第二衛生)
- O-B-10 口腔保湿剤 Oral balance<sup>®</sup> の効果  
 ○岡本祐一<sup>1</sup>, 二宮一智<sup>1</sup>, 天内孝昌<sup>1</sup>, 南部弘喜<sup>1</sup>, 又賀 泉<sup>1</sup>, 青木茂治<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>日歯大・新潟・口外 2, <sup>2</sup>同・先端研究センター)
- O-B-11 食用植物クローブ (*Syzygium aromaticum*) 経口摂取によるマウス口腔カンジダ症の改善  
 ○田口裕基<sup>1</sup>, 安部 茂<sup>2</sup>, 滝沢登志雄<sup>2</sup>, 石橋弘子<sup>2</sup>, 井上重治<sup>2</sup>, 山口英世<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>エスピー食品・商品本部, <sup>2</sup>帝京大・医真菌研)
- O-B-12 健常成人における口腔内カンジダ属の保有率に関する検討  
 ○二宮一智<sup>1</sup>, 岡本祐一<sup>1</sup>, 天内孝昌<sup>1</sup>, 南部弘喜<sup>1</sup>, 又賀 泉<sup>1</sup>, 仲村健二郎<sup>2</sup>, 久和彰江<sup>2</sup>, 青木茂治<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>日歯大・新潟・口外 2, <sup>2</sup>同・先端研)
- O-B-13 口腔カンジダ症患者に対する糖利用能試験の検討  
 ○南部弘喜<sup>1</sup>, 又賀 泉<sup>1</sup>, 久和彰江<sup>2</sup>, 仲村健二郎<sup>2</sup>, 青木茂治<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>日歯大・新潟・口外 2, <sup>2</sup>同・先端研)

O-B-14 腎カンジダ症における抗真菌剤投与の影響に関する病理組織学的検討

○若山 恵<sup>1</sup>, 渋谷和俊<sup>2</sup>, 安藤常浩<sup>1</sup>, 大原関利章<sup>1</sup>, 横内 幸<sup>1</sup>, 高橋 啓<sup>1</sup>, 直江史郎<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東邦大・大橋・病理, <sup>2</sup>同・大森・病理)

(11:20~12:00 O-B-15~O-B-18)

座 長: 亀井克彦 (千葉大・真菌センター)

佐野文子 (千葉大・真菌センター)

O-B-15 抗真菌薬ミカファンギンの感受性測定法の検討ならびに臨床分離株の抗真菌薬感受性測定成績

○阿部美知子<sup>1</sup>, 鉢村和男<sup>1</sup>, 谷川紘三<sup>1</sup>, 小川善資<sup>1</sup>, 小幡 進<sup>2</sup>, 赤星 透<sup>2</sup>, 久米 光<sup>3</sup>,  
中野倫太<sup>4</sup>, 久保亮一<sup>4</sup>, 栗原 誠<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>北里大・医療衛生, <sup>2</sup>同・病院・検査, <sup>3</sup>同・医・病理, <sup>4</sup>関東化学伊勢原研)

O-B-16 *Cryptococcus curvatus* 感染症の8例

○菊池 賢<sup>1</sup>, 鶴岡直樹<sup>2</sup>, 戸塚恭一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東女医大・感染, <sup>2</sup>同・検査)

O-B-17 イヌの皮膚ヒストプラズマ症の1例

○佐野文子<sup>1</sup>, 村田佳輝<sup>2</sup>, 鎗田響子<sup>1</sup>, 岩崎利郎<sup>3</sup>, 猪股智夫<sup>4</sup>, 亀井克彦<sup>1</sup>, 西村和子<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>千葉大・真菌センター, <sup>2</sup>むらた動物病院, <sup>3</sup>農工大・農・家畜内科,  
<sup>4</sup>麻布大・獣医・実験動物)

O-B-18 LAMP法を用いた臨床検体からの病原真菌遺伝子の検出同定法の開発

○藤崎竜一<sup>1</sup>, 植村浩一<sup>1,2</sup>, 山口英世<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>帝京大・医真菌研, <sup>2</sup>帝京大・ゲノム・リサーチセンター)

皮膚科学 (9:00~12:00)

4F B会場

(9:00~9:50 O-D-1~O-D-5)

座 長: 中嶋 弘 (横浜市アレルギーセンター)

金原武司 (金原皮膚科)

O-D-1 皮膚プロトテコーシスの一例

○稲福和宏<sup>1</sup>, 宮里 肇<sup>1</sup>, 金森志奈子<sup>1</sup>, 仲里 巖<sup>2</sup>, 細川 篤<sup>3</sup>, 山本雄一<sup>3</sup>, 佐野文子<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>県立那覇・皮, <sup>2</sup>同・病理, <sup>3</sup>琉球大・医・皮, <sup>4</sup>千葉大・真菌センター)

O-D-2 *Nocardia brasiliensis* によるノカルジア性菌腫の1例

○佐藤友隆<sup>1</sup>, 松尾聿朗<sup>1</sup>, 足立 真<sup>2</sup>, 渡辺晋一<sup>3</sup>, 三上 襄<sup>4</sup>, 加納 壘<sup>5</sup>, 長谷川篤彦<sup>5</sup>  
(<sup>1</sup>帝京大市原・皮, <sup>2</sup>関東労災・皮, <sup>3</sup>帝京大・医・皮, <sup>4</sup>千葉大・真菌センター,  
<sup>5</sup>日大・獣医・臨病)

O-D-3 SLE 患者に生じた *Rhizopus azygosporus* による原発性皮膚ムーコル症の 1 例

○藤本篤嗣<sup>1</sup>, 山上 淳<sup>1</sup>, 杉浦 丹<sup>1</sup>, 永尾圭介<sup>2</sup>, 宇田川俊一<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>静岡市立清水・皮, <sup>2</sup>慶大・医・皮, <sup>3</sup>日本食品分析センター多摩研)

O-D-4 *Rhizopus oryzae* による皮膚ムーコル症の 1 例

○柴崎嘉子<sup>1</sup>, 森上徹也<sup>1</sup>, 青山正子<sup>1</sup>, 大角佳世子<sup>1</sup>, 窪田泰夫<sup>1</sup>, 澤登慶治<sup>2</sup>, 内田尚仁<sup>2</sup>,  
永尾圭介<sup>3</sup>, 畑 康樹<sup>3</sup>, 仲 弥<sup>3</sup>, 宇田川俊一<sup>4</sup>

(<sup>1</sup>香川医大・皮, <sup>2</sup>同・内科, <sup>3</sup>慶應大・医・皮, <sup>4</sup>日本食品分析センター多摩研)

O-D-5 ALL 患者に生じた皮膚ムーコル症

○宮本秀明<sup>1</sup>, 中嶋 弘<sup>2</sup>, 花澤 良<sup>3</sup>, 高鳥浩介<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>神奈川がんセンター・皮, <sup>2</sup>横浜市アレルギーセンター・皮,  
<sup>3</sup>国立医薬品食品衛生研・衛生微生物)

( 9 : 50 ~ 11 : 00 O-D-6 ~ O-D-11)

座 長：松本忠彦 (東芝病院・皮)

松田哲男 (松田ひふ科)

O-D-6 左手関節背部に生じたクロモミコーシスの 1 例

○松下明子<sup>1</sup>, 比留間政太郎<sup>2</sup>, 近藤幸子<sup>3</sup>, 松葉祥一<sup>3</sup>, 高森建二<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>浦安市川市民病・皮, <sup>2</sup>順天堂大・医・皮, <sup>3</sup>順天堂大浦安・皮)

O-D-7 広範囲に疣状局面を認めたクロモミコーシスの 1 例

○伊藤友章<sup>1</sup>, 茂田江理<sup>1, 2</sup>, 田嶋磨美<sup>1</sup>, 丸山隆児<sup>3</sup>, 植村浩一<sup>2</sup>, 坪井良治<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>東医大・皮, <sup>2</sup>帝京大・医真菌研, <sup>3</sup>中野総合・皮)

O-D-8 Phaeomycotic cyst の 1 例

○島田洋子<sup>1</sup>, 浜口太造<sup>1</sup>, 宋 寅傑<sup>1</sup>, 香川三郎<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>昭和大・横浜市北部病, <sup>2</sup>昭和大・医・皮)

O-D-9 Immunocompromised host の手背に生じた真菌感染症の 2 例

○上ノ土 武<sup>1</sup>, 古賀哲也<sup>1</sup>, 松田哲男<sup>1</sup>, 古江増隆<sup>1</sup>, 松本忠彦<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>九州大・医・皮, <sup>2</sup>東芝病院・皮)

O-D-10 関節リウマチ患者にみられた *Fusarium solani* による皮下膿瘍の 1 例

○小笠原弓恵<sup>1</sup>, 大村明子<sup>2</sup>, 武藤正彦<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>山口大・医・皮, <sup>2</sup>山口労災・皮)

O-D-11 中毒性表皮壊死症に伴った皮膚アスペルギルス症の 1 例

渡邊京子 (茅ヶ崎徳洲会・皮)

(11:00~12:00 O-D-13~O-D-18)

座長：石崎 宏（金沢医大・皮）

西山千秋（日大・短大・食品栄養）

O-D-13 慢性皮膚粘膜カンジダ症の1例

○和泉智子, 北島康雄（岐阜大・皮）

O-D-14 *C. albicans* による表皮細胞内での *NFκB* 活性化に *IKK* が関与する

○足立 真<sup>1,2</sup>, 谷 健二<sup>1</sup>, 神田奈緒子<sup>1</sup>, 長谷川篤彦<sup>3</sup>, 渡辺晋一<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>帝京大・医・皮, <sup>2</sup>関東労災病院・皮, <sup>3</sup>日大・生物資源科学）

O-D-15 味覚障害における喫煙, 飲酒の影響

○谷口裕子<sup>1</sup>, 坂下さゆり<sup>1</sup>, 高山かおる<sup>1</sup>, 入交純也<sup>1</sup>, 佐野隆夫<sup>1,2</sup>, 加藤卓朗<sup>3</sup>, 西岡 清<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>東医歯大・医・皮, <sup>2</sup>サノ皮膚科クリニック, <sup>3</sup>済生会川口病・皮）

O-D-16 *Malassezia* の菌相を解析したアカツキ病の1例

○田嶋磨美<sup>1</sup>, 天谷美里<sup>1</sup>, 杉田 隆<sup>2</sup>, 西川朱實<sup>3</sup>, 坪井良治<sup>1</sup>

（<sup>1</sup>東京医大・皮, <sup>2</sup>明治薬大・微生物, <sup>3</sup>同・免疫生物）

O-D-17 乾癬患者における *Malassezia* の菌相解析

○天谷美里<sup>1</sup>, 田嶋磨美<sup>1</sup>, 杉田 隆<sup>2</sup>, 坪井良治<sup>1</sup>, 西川朱實<sup>3</sup>

（<sup>1</sup>東京医大・皮, <sup>2</sup>明治薬大・微生物, <sup>3</sup>同・免疫生物）

O-D-18 アトピー性皮膚炎患者の皮膚に定着する多様な真菌

—新しい *Malassezia* 菌種および non-*Malassezia* 菌種の検出—

○杉田 隆<sup>1</sup>, 伊藤友章<sup>3</sup>, 坪井良治<sup>3</sup>, 西川朱實<sup>2</sup>

（<sup>1</sup>明治薬大・微生物, <sup>2</sup>同・免疫生物, <sup>3</sup>東京医大・皮）



## 一般演題(ポスター発表)

第1日目 10月16日(木) 8:30~18:00

第2日目 10月17日(金) 8:30~15:00

ポスターは2日続けて展示して下さい。

ポスターセッションは17日(金) 13:00~15:00に行います。発表者はパネルの前で待機して下さい。

皮膚科学 P-B-1~P-B-23 (Aグループ)

4F ポスター会場(1)

(ポスターセッション 13:00~13:20 P-B-1~P-B-5)

座長: 発地雅夫(信州大・医)

竹尾漢治(千葉大・真菌センター)

P-B-1 病原真菌データベース: PFDB2003

○植村浩一<sup>1,2</sup>, 渋谷和俊<sup>1,3</sup>, 加納 墨<sup>1,4</sup>, 杉田 隆<sup>1,5</sup>, 岩口伸一<sup>1,6</sup>, 前崎繁文<sup>1,7</sup>, 望月 隆<sup>1,8</sup>  
(<sup>1</sup>PFDB運営委, <sup>2</sup>帝京大・医真菌研, <sup>3</sup>東邦大・医・大森・病理, <sup>4</sup>日大・獣医・臨病,  
<sup>5</sup>明治薬大・微生物, <sup>6</sup>奈良女大・理・生物, <sup>7</sup>埼玉医大・内科, <sup>8</sup>金沢医大・皮)

P-B-2 種子を用いた新しい真菌培地の検討

中本幸子(鳥取大・医・保健)

P-B-3 *Aspergillus fumigatus* 培養時の酸素濃度が gliotoxin 産生量に及ぼす影響

○渡辺 哲<sup>1</sup>, 亀井克彦<sup>1</sup>, 関根利一<sup>2</sup>, 日暮浩実<sup>3</sup>, 落合恵理<sup>4</sup>, 橋本佳江<sup>5</sup>, 西村和子<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>千葉大・真菌センター, <sup>2</sup>同・大学院薬・創薬資源, <sup>3</sup>同・大学院医・呼吸器病態,  
<sup>4</sup>同・大学院自然科学・生命資源, <sup>5</sup>同・大学院自然科学・生物資源)

P-B-4 *Aspergillus* 属の産生するエラスターゼ阻害因子について

○奥村欣由<sup>1,2</sup>, 小川賢二<sup>3</sup>, 二改俊章<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>浦清薬業, <sup>2</sup>名城大・薬, <sup>3</sup>国立療養名古屋病・呼吸)

P-B-5 真菌細胞壁多糖体の *Candida albicans* 形態変化調節活性

○渡部俊彦<sup>1</sup>, 小笠原綾子<sup>1</sup>, 三上 健<sup>1</sup>, 鈴木益子<sup>2</sup>, 松本達二<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東北薬大・微生物, <sup>2</sup>仙台真菌研)

(ポスターセッション 13:20~13:40 P-B-6~P-B-10)

座長: 宮川洋三(山梨医大・生命科学)

池田玲子(明治薬大・微生物)

P-B-6 トリプトファン代謝物ピコリン酸によるマウス好中球の *Candida* 発育阻止能の増強

○胡 偉民, 安部 茂, 石橋弘子, 植村浩一, 山口英世(帝京大・医真菌研)

- P-B-7 *Cryptococcus neoformans* に対する黄色ブドウ球菌の殺菌作用と莢膜多糖類の役割  
○斉藤史人, 池田玲子 (明治薬大・微生物)
- P-B-8 凍結置換法と連続超薄切片法による *Cryptococcus neoformans* の紡錘極体の電子顕微鏡観察  
○山口正視, 竹尾漢治 (千葉大・真菌センター)
- P-B-9 *Cryptococcus neoformans* における中性 pH 環境下での特殊な増殖と出芽酵母遺伝子破壊株セットを利用したその現象の解析  
伯川 徹, 星田尚司, ○赤田倫治 (山口大・工・応化)
- P-B-10 マウス感染前後での *Cryptococcus neoformans* の病原性の変化についての検討  
○小林 奨<sup>1</sup>, 掛屋 弘<sup>1</sup>, 宮崎義継<sup>1</sup>, 田代隆良<sup>2</sup>, 河野 茂<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>長崎大・医・二内, <sup>2</sup>同・医・保健)

(ポスターセッション 13:40~14:10 P-B-11~P-B-17)

座 長: 大野尚人 (東京薬大・薬・免疫)  
加賀谷けい子 (山梨生物医学研)

- P-B-11 *Candida albicans* のバイオフィルム形成阻害  
○倉門早苗<sup>1</sup>, 杉田 隆<sup>1</sup>, 西川朱實<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>明治薬大・微生物, <sup>2</sup>同・免疫生物)
- P-B-12 *N*-アセチルノイラミン酸による *C. albicans* 菌糸形増殖の抑制について  
○小笠原綾子, 渡部俊彦, 三上 健, 松本達二 (東北薬大・微生物)
- P-B-13 *Candida* 細胞壁  $\beta$  グルカン投与マウスの抗 CSBG 抗体価の解析  
○石橋健一<sup>1</sup>, 篠原弘靖<sup>1</sup>, 三浦典子<sup>1</sup>, 安達禎之<sup>1</sup>, 田中重則<sup>2</sup>, 田村弘志<sup>2</sup>, 吉田雅治<sup>3</sup>, 大野尚仁<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東京薬大・免疫, <sup>2</sup>生化学工業, <sup>3</sup>東京医大・八王子医療セ・腎臓)
- P-B-14 *Candida albicans* 菌体外多糖 CAWS とマウス抗  $\beta$ -glucan 抗体の反応性  
○篠原弘靖, 石橋健一, 三浦典子, 安達禎之, 大野尚仁 (東京薬大・免疫)
- P-B-15 *Candida albicans* ステロール 14 位脱メチル化欠損株に見られる酢酸塩による増殖停止現象の機序: 活性酸素の関与の検討  
○下川 修<sup>1</sup>, 新見昌一<sup>2</sup>, 青木茂治<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九大・歯学研究院, <sup>2</sup>国立感染研・生物活性, <sup>3</sup>日歯大・新潟・先端研)
- P-B-16 マウス口腔カンジダ症モデルにおけるミコナゾールゲル剤の有効性に関する検討  
○石橋弘子, 安部 茂, 山口英世 (帝京大・医真菌研)
- P-B-17 アゾール耐性 *Candida albicans* に対する抗悪性腫瘍薬とフルコナゾールの相乗効果  
○松本 怜<sup>1</sup>, 杉田 隆<sup>1</sup>, 西川朱實<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>明治薬大・微生物, <sup>2</sup>同・免疫生物)

(ポスターセッション 14:10~14:35 P-B-18~P-B-23)

座長：宮治 誠 (千葉大・真菌センター)

久米 光 (北里大・医・病理)

- P-B-18 *C. albicans* 菌糸形細胞に及ぼす micafungin の作用 –FUN-1 生体染色法を用いた検討–  
○西山彌生, 蓮見弥生, 内田勝久, 山口英世 (帝京大・医真菌研)
- P-B-19 抗 *Cryptococcus neoformans* 活性を示す microcin の性状  
○池田玲子, 杉田 隆 (明治薬大・微生物)
- P-B-20 BioCell Tracer を用いた *Aspergillus fumigatus* に対する micafungin の薬効評価に関する基礎的研究  
○田口英昭<sup>1</sup>, 亀井克彦<sup>1</sup>, 久米 光<sup>2</sup>, 渡辺 哲<sup>1</sup>, 仁戸田憲和<sup>1</sup>, 福島和貴<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>千葉大・真菌センター, <sup>2</sup>北里大・医・病理)
- P-B-21 銀イオンの生物活性に関する研究–抗真菌活性およびミトコンドリア呼吸鎖での作用機序  
○近森 穰<sup>1</sup>, 滝澤香代子<sup>1</sup>, 河合 清<sup>2</sup>, 西村和子<sup>1</sup>, 福島和貴<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>千葉大・真菌センター, <sup>2</sup>中京女子大)
- P-B-22 ブラジル土壌からの分離真菌 IFM52672 株から単離された Dihydroheveadride の構造とその抗真菌活性について  
○細江智夫<sup>1</sup>, 福島和貴<sup>2</sup>, 滝澤香代子<sup>2</sup>, 近森 穰<sup>2</sup>, 宮治 誠<sup>2</sup>, 河合賢一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>星薬大・薬化学, <sup>2</sup>千葉大・真菌センター)
- P-B-23 ヒト肺感染症より分離された *Ochroconis gallopava* について  
○大堀 陽, 佐野文子, 遠藤成朗, 横山耕治, 鎗田響子, 亀井克彦, 山口正視, 西村和子  
(千葉大・真菌センター)

(ポスターセッション 14:35~15:00 P-D-1~P-D-8)

座長：高瀬孝子 (高瀬皮膚科)

河崎昌子 (金沢医大・皮)

- P-D-1 猫から感染したスポロトリコーシスの多発例  
駒田信二 (国立別府病・皮)
- P-D-2 毛包炎様皮疹を呈したスポロトリコーシスの3例：自験例の集計  
○小室陽子, 角田美英, 比留間政太郎, 小川秀興 (順天堂大学・医・皮)
- P-D-3 スポロトリコーシスの2例  
○竹之下秀雄 (白河厚生総合病・皮)
- P-D-4 スポロトリコーシス—小児の顔面に生じた固定型の2例—  
○高瀬孝子<sup>1</sup>, 大塚藤男<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>高瀬皮膚科, <sup>2</sup>筑波大・臨床医学系・皮)

- P-D-5 前腕に生じたリンパ管型スポロトリコーシス  
○當間由子<sup>1</sup>, 西山千秋<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>東松山市立市民・皮, <sup>2</sup>日大・短大)
- P-D-6 リボソーム RNA 遺伝子の部分的塩基配列を基に推定した *S. schenckii* 各タイプ間の系統関係  
○渡邊晴二, 河崎昌子, 望月 隆, 石崎 宏 (金沢医大・皮)
- P-D-7 インド, タイ, メキシコからの *Sporothrix schenckii* の mtDNA タイプと rDNA タイプ  
○河崎昌子<sup>1</sup>, 石崎 宏<sup>1</sup>, A Chakrabarti<sup>2</sup>, R Ungpakorn<sup>3</sup>, HT Guererro<sup>4</sup>, R Arenas<sup>5</sup>  
(<sup>1</sup>金沢医大・皮, <sup>2</sup>PIMER India, <sup>3</sup>ID Thailand, <sup>4</sup>UNAM Mexico, <sup>5</sup>HMGG Mexico)
- P-D-8 スポロトリコーシス発症における表皮ランゲルハンス細胞の役割  
○楠原正洋, 橋本 隆 (久留米大・皮)

皮膚科学 P-D-9~P-D-38 (Bグループ)

4F ポスター会場 (2)

(ポスターセッション 13:00~13:30 P-D-9~P-D-16)

座 長: 笠井達也 (笠井皮膚科)

五十棲 健 (東京警察病・皮)

- P-D-9 千葉県でみられた *Trichophyton tonsurans* による Black Dot Ringworm の 1 例  
○高橋容子<sup>1,2</sup>, 佐野文子<sup>2</sup>, 小森隆嗣<sup>2,3</sup>, 西村和子<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>きさらづ皮膚科, <sup>2</sup>千葉大・真菌センター, <sup>3</sup>藤沢薬品・物性研)
- P-D-10 *Trichophyton tonsurans* によるケルスス禿瘡の 1 例および体部白癬の 1 例  
○角谷廣幸<sup>1</sup>, 望月 隆<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>あいおい皮膚科クリニック, <sup>2</sup>金沢医大・皮)
- P-D-11 *Trichophyton tonsurans* による体部白癬の 2 例  
○成田有紀<sup>1</sup>, 森下宣明<sup>1</sup>, 清 佳浩<sup>1</sup>, 滝内石夫<sup>1</sup>, 森川 茂<sup>2</sup>, 古賀美保<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>昭和大・藤が丘・皮, <sup>2</sup>横浜市, <sup>3</sup>川崎市)
- P-D-12 宮城県下に於ける *Trichophyton tonsurans* による白癬の現状  
笠井達也 (笠井皮膚科)
- P-D-13 千葉県下の高等学校柔道部員に集団発生した *Trichophyton tonsurans* による白癬  
○高橋容子<sup>1,2</sup>, 佐野文子<sup>2</sup>, 亀井克彦<sup>2</sup>, 鎗田響子<sup>2</sup>, 西村和子<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>きさらづ皮膚科, <sup>2</sup>千葉大・真菌センター)
- P-D-14 某高等学校レスリング部の *Trichophyton tonsurans* 感染症の集団検診とその対策  
○小笠原弓恵<sup>1</sup>, 安野秀敏<sup>2</sup>, 武藤正彦<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>山口大・医・皮, <sup>2</sup>やすの皮膚科)

P-D-15 調査用紙と hairbrush 法を用いた多施設における柔道部部員の *Trichophyton tonsurans* 感染症の調査結果

○白木祐美<sup>1</sup>, 比留間政太郎<sup>2</sup>, 小川秀興<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>東京臨海・皮, <sup>2</sup>順天堂大・医・皮)

P-D-16 特異的 PCR を用いた *Trichophyton tonsurans* の検出・同定法の開発と検診時採取検体への適応

○茂田江理<sup>1,2</sup>, 楨村浩一<sup>2</sup>, 金子健彦<sup>3</sup>, 比留間政太郎<sup>4</sup>, 坪井良治<sup>1</sup>, 山口英世<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>東医大・皮, <sup>2</sup>帝京大・医真菌研, <sup>3</sup>同愛記念病院・皮, <sup>4</sup>順天堂大・医・皮)

(ポスターセッション 13:30~14:00 P-D-17~P-D-24)

座長: 東 禹彦 (堺市立病・皮)

加藤卓郎 (済生会川口病・皮)

P-D-17 入院患者における白癬の罹患状況

○高橋一朗<sup>1</sup>, 飯塚 一<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>市立土別総合病・皮, <sup>2</sup>旭川医大・皮)

P-D-18 指間白癬 — 済生会三条病院における最近 5 年間の症例 —

○奥田長三郎<sup>1</sup>, 伊藤雅章<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>済生会三条・皮, <sup>2</sup>新潟大・医・皮)

P-D-19 最近 9 年間に経験した *Microsporum gypsum* 感染症の集計

○澤田朋子, 比留間政太郎, 角田美英, 河井正晶, 小川秀興 (順天堂大・医・皮)

P-D-20 順天堂越谷病院における足白癬・爪白癬の調査

○河井正晶, 比留間政太郎, 小川秀興 (順天堂大・医・皮)

P-D-21 Onychomycosis in Korea during 1999-2002

○M.K. Suh, S.W. Lim, J.W. Lee, G.Y. Ha (Dept. of Dermatol. Dongguk Univ. (Korea))

P-D-22 爪真菌症に対する itraconazole パルス療法 — SCIO を用いた臨床評価の検討 —

○早田名保美<sup>1</sup>, 比留間政太郎<sup>1</sup>, 小川秀興<sup>1</sup>, 小林裕美<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>順天堂大・医・皮, <sup>2</sup>大阪市大・医・皮)

P-D-23 爪真菌症に対する terbinafine 倍量 (250 mg/日)・短期投与療法

○白木祐美<sup>1,2</sup>, 比留間政太郎<sup>2</sup>, 小川秀興<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>東京臨海・皮, <sup>2</sup>順天堂大・医・皮)

P-D-24 爪白癬の重症度と糖尿病の重症度との相関について

○角田美英<sup>1</sup>, 比留間政太郎<sup>1</sup>, 田中 逸<sup>2</sup>, 黒沢美智子<sup>3</sup>, 小川秀興<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>順天堂大・医・皮, <sup>2</sup>同・糖尿病内科, <sup>3</sup>同・衛生学)

(ポスターセッション 14:00~14:30 P-D-25~P-D-31)

座長：高森建二（順天堂大・浦安病・皮）

清 佳浩（昭和大・藤が丘病・皮）

P-D-25 結節状に初発した頭部白癬の1例

○佐藤由実, 重枝明子, 伊藤治夫, 石崎純子, 繁益弘志, 原田敬之（東京女子医大第二・皮）

P-D-26 *Microsporum canis* による生毛部急性深在性白癬と診断した1例

○畑 康樹<sup>1</sup>, 永尾圭介<sup>2</sup>, 仲 弥<sup>3</sup>

（<sup>1</sup>済生会神奈川・皮, <sup>2</sup>慶應大・医・皮, <sup>3</sup>仲皮フ科）

P-D-27 Multiple-cystic variant of tinea profunda due to *Trichophyton rubrum*

○小林美和<sup>1</sup>, 石田恵巳留<sup>1</sup>, 戸倉新樹<sup>1</sup>, 田邊 洋<sup>2</sup>

（<sup>1</sup>産業医大・皮, <sup>2</sup>金沢医大・皮）

P-D-28 足白癬に対する抗真菌剤内服・外用併用療法

○小林裕美<sup>1</sup>, 中西健史<sup>1</sup>, 石井正光<sup>1</sup>, 比留間政太郎<sup>2</sup>

（<sup>1</sup>大阪市大・医・皮, <sup>2</sup>順天堂大・医・皮）

P-D-29 抗白癬菌モノクローナル抗体の作成とその特性

○梶谷和生<sup>1</sup>, 法木左近<sup>2</sup>, 石田久哉<sup>3</sup>, 熊切正信<sup>3</sup>

（<sup>1</sup>東洋紡・敦賀バイオ研, <sup>2</sup>福井大・医・病理, <sup>3</sup>福井大・医・皮）

P-D-30 抗白癬菌モノクローナル抗体の菌種特異性の検討

○石田久哉<sup>1</sup>, 法木左近<sup>2</sup>, 梶谷和生<sup>3</sup>, 熊切正信<sup>1</sup>, 望月 隆<sup>4</sup>

（<sup>1</sup>福井大・医・皮, <sup>2</sup>同・医・病理, <sup>3</sup>東洋紡・敦賀バイオ研, <sup>4</sup>金沢医大・皮）

P-D-31 抗白癬菌モノクローナル抗体を用いた非顕微鏡的水虫診断の試み

○法木左近<sup>1</sup>, 梶谷和生<sup>3</sup>, 石田久哉<sup>2</sup>, 熊切正信<sup>2</sup>

（<sup>1</sup>福井大・医・病理, <sup>2</sup>福井大・医・皮, <sup>3</sup>東洋紡・敦賀バイオ研）

(ポスターセッション 14:30~15:00 P-D-32~P-D-39)

座長：北島康雄（岐阜大・医・皮）

仲 弥（仲皮ふ科）

P-D-32 スタンプ法を用いた白癬菌の分離 —白癬菌の生存期間の実験的検討—

○入交純也<sup>1,3</sup>, 加藤卓朗<sup>2</sup>, 谷口裕子<sup>3</sup>, 西岡 清<sup>3</sup>

（<sup>1</sup>湘南鎌倉・皮, <sup>2</sup>済生会川口・皮, <sup>3</sup>東医歯大・皮）

P-D-33 スタンプ法を用いた白癬菌の分離 —白癬患者の病変部と着用中の靴, 靴下の検討 第2報—

○入交純也<sup>1,4</sup>, 丸山隆児<sup>2</sup>, 加藤卓朗<sup>3</sup>, 谷口裕子<sup>4</sup>, 佐野隆夫<sup>4</sup>, 西岡 清<sup>4</sup>

（<sup>1</sup>湘南鎌倉・皮, <sup>2</sup>中野総合・皮, <sup>3</sup>済生会川口・皮, <sup>4</sup>東医歯大・皮）

- P-D-34 乾燥した環境における *T. mentagrophytes* 分節胞子の生存期間  
 ○福山國太郎<sup>1</sup>, 丸山隆児<sup>2</sup>, 西岡 清<sup>1</sup>  
 ( <sup>1</sup>東京医歯大・医・皮, <sup>2</sup>中野総合病・皮)
- P-D-35 牛皮膚糸状菌 *Trichophyton verrucosum* の被毛分解性  
 ○小菅旬子<sup>1</sup>, 後藤義孝<sup>1</sup>, 李 憲俊<sup>2</sup>, 高鳥浩介<sup>3</sup>  
 ( <sup>1</sup>宮崎大・農・家畜微生物, <sup>2</sup>衛生微生物研究センター, <sup>3</sup>国立医薬品食品衛研・衛生微生物)
- P-D-36 牛皮膚糸状菌症の宿主側感染要因について  
 ○小菅旬子<sup>1</sup>, 後藤義孝<sup>1</sup>, 李 憲俊<sup>2</sup>, 高鳥浩介<sup>3</sup>  
 ( <sup>1</sup>宮崎大・農・家畜微生物, <sup>2</sup>衛生微生物研究センター, <sup>3</sup>国立医薬品食品衛研・衛生微生物)
- P-D-37 新規外用抗真菌剤 luliconazole (NND-502) の角質親和性  
 ○古賀裕康<sup>1</sup>, 田村真也<sup>1</sup>, 吉實隆志<sup>1</sup>, 潮海淑応<sup>1</sup>, 鈴木 孝<sup>1</sup>, 山口英世<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>日本農薬・総合研, <sup>2</sup>帝京大・医真菌研)
- P-D-38 *Trichophyton mentagrophytes* に対する FK506 とイトラコナゾールの *in vitro* 併用効果  
 ○小澤浩子<sup>1</sup>, 平井明香<sup>1</sup>, 加納 塁<sup>1</sup>, 渡辺晋一<sup>2</sup>, 長谷川篤彦<sup>1</sup>  
 ( <sup>1</sup>日大・獣医・臨病, <sup>2</sup>帝京大・医・皮)
- P-D-39 家庭内生活環境 (押し入れ, クローゼット) における真菌分布変化  
 ○荒 勝俊<sup>1</sup>, 相原真紀<sup>2</sup>, 小島みゆき<sup>3</sup>, 都島康彦<sup>3</sup>, 川合修次<sup>1</sup>, 上田伸男<sup>4</sup>, 秋山一男<sup>5</sup>,  
 高鳥浩介<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>花王・生科研, <sup>2</sup>国立医薬品食品衛研・衛生微生物, <sup>3</sup>花王・生活文化研, <sup>4</sup>宇都宮大・教育,  
<sup>5</sup>国立相模原病院・臨床研究センター)

ゲノム P-G-1~P-G-31 (Cグループ)

4F ポスター会場 (3)

(ポスターセッション 13:00~13:40 P-G-1~P-G-10)

座 長: 三上 襄 (千葉大・真菌センター)

渋谷和俊 (東邦大・医・大森・病理)

- P-G-1 *Nocardia abscessus* と *Nocardia beijingensis* の日本における初めての報告例  
 ○影山亜紀子<sup>1</sup>, 矢沢勝清<sup>1</sup>, 谷口ヒロ子<sup>1</sup>, 工藤卓二<sup>2</sup>, 西村和子<sup>1</sup>, 三上 襄<sup>1</sup>  
 ( <sup>1</sup>千葉大・真菌センター, <sup>2</sup>理研・系統保存)
- P-G-2 患者から分離された *Gordonia* 株の分類学的研究  
 ○谷口ヒロ子, 飯田創治, 影山亜紀子, 矢沢勝清, 三上 襄 (千葉大・真菌センター)
- P-G-3 中国の眼感染症患者から分離された *Arthrographis kalrae* の同定  
 ○滝澤香代子<sup>1</sup>, Xi Liyan<sup>2</sup>, 福島和貴<sup>1</sup>, 西村和子<sup>1</sup>  
 ( <sup>1</sup>千葉大・真菌センター, <sup>2</sup>中国・中山大学第二医院)



- P-G-4 *Fusarium oxysporum* による趾爪真菌証の1例  
 ○前田 学<sup>1</sup>, 藤沢智美<sup>1</sup>, 永井美貴<sup>1</sup>, 杉野佳奈<sup>1</sup>, 望月 隆<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>県立岐阜病・皮, <sup>2</sup>金沢医大・皮)
- P-G-5 rDNA から推定した *Fonsecaea pedrosoi* 各タイプの系統樹と mtDNA から推定した系統樹との比較  
 ○田邊 洋, 河崎昌子, 望月 隆, 石崎 宏 (金沢医大・皮)
- P-G-6 *Cladophialophora carrionii* 同定のための特異的PCRプライマーの開発  
 ○Paride Abliz, 福島和貴, 滝澤香代子, 西村和子 (千葉大・真菌センター)
- P-G-7 輸入真菌症原因菌 *Coccidioides immitis* の種内多型について  
 ○横山耕治<sup>1</sup>, 遠藤成朗<sup>1</sup>, 小森隆嗣<sup>1, 2</sup>, 伊藤純子<sup>1</sup>, 佐野文子<sup>1</sup>, 西村和子<sup>1</sup>  
 ( <sup>1</sup>千葉大・真菌センター, <sup>2</sup>藤沢薬品・物性研)
- P-G-8 *Histoplasma capsulatum* の D1/D2 領域における種内多型  
 ○小森隆嗣<sup>1, 2</sup>, 佐野文子<sup>2</sup>, 鎗田響子<sup>2</sup>, 亀井克彦<sup>2</sup>, 西村和子<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>藤沢薬品・物性研, <sup>2</sup>千葉大・真菌センター)
- P-G-9 侵襲性アスペルギルス口内炎患者の口腔内組織から検出された真菌要素の *in situ* hybridization 法による同定  
 ○村山琮明<sup>1</sup>, 明見能成<sup>2</sup>, 渋谷和俊<sup>3</sup>, 三上 襄<sup>4</sup>, 斧 康雄<sup>5</sup>, 山口英世<sup>6</sup>  
 ( <sup>1</sup>北里大・北里生命科学研・感染情報, <sup>2</sup>広島赤十字原爆病院・歯科口腔外科, <sup>3</sup>東邦大・医・大森・病理, <sup>4</sup>千葉大・真菌センター, <sup>5</sup>帝京大・医・微生物, <sup>6</sup>帝京大・医真菌研)
- P-G-10 Micafungin で治療したマウス肺アスペルギルス症の電子顕微鏡像  
 ○中井 徹<sup>1</sup>, 波多野和男<sup>1</sup>, 池田文昭<sup>1</sup>, 渋谷和俊<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>藤沢薬品・薬理研, <sup>2</sup>東邦大・医・大森・病理)

(ポスターセッション 13:40~14:20 P-G-11~P-G-21)

座 長: 新見昌一 (国立感染研・生物活性)

福岡 隆 (三共・研究推進)

- P-G-11 千葉大学真菌医学研究センター保存菌株の再評価 ―特に病原性 *Candida* 属について―  
 ○伊藤純子, 田中玲子, 西村和子 (千葉大・真菌センター)
- P-G-12 クラスタ状のカンジダ酵母形増殖細胞での形態変換誘導と遺伝子発現解析  
 ○豊田美香, 長 環, 上西秀則 (福岡歯科大・感染生物)
- P-G-13 病原性酵母 *Candida albicans* の反復配列 (MRS) への *URA* カセット挿入によって誘導された染色体転座とアゾール系抗真菌剤耐性  
 ○岩口伸一, 鈴木孝仁 (奈良女大・理・生物科学)
- P-G-14 プロテインキナーゼによる *Candida albicans* の形態制御および病原性への関与  
 ○梅山 隆, 新見昌一, 上原至雅 (国立感染研・生物活性)



- P-G-15 *Candida albicans* 染色体 7 番の全塩基配列の決定と非病原性酵母 *Saccharomyces cerevisiae* との比較ゲノム解析  
○知花博治, 岡 奈緒, 敷波久美子, 西村和子, 三上 襄 (千葉大・真菌センター)
- P-G-16 *C. albicans* リン酸代謝制御系 (PHOシステム) の負の制御因子 CaPho85 の性状 - Tet システムによる解析  
小澤拓也, 河邊 亮, 花田 零, ○宮川洋三 (山梨大・生命工学)
- P-G-17 *Candida albicans* の各種条件下におけるエイコサノイド合成酵素遺伝子の発現  
○荒井梨花<sup>1</sup>, 杉田 隆<sup>1</sup>, 西川朱實<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>明治薬大・微生物, <sup>2</sup>同・免疫生物)
- P-G-18 酵母の健康増進作用に関する研究 (4) *Candida kefyr* の種内変異について  
加賀谷けい子<sup>1</sup>, ○鈴木基文<sup>2</sup>, 宮川洋三<sup>3</sup>, 深沢義村<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>山梨生物医学研, <sup>2</sup>理研・生物基盤, <sup>3</sup>山梨大・工)
- P-G-19 *Malassezia* 属菌のチトクロームb遺伝子による同定と種内多型  
○遠藤成朗<sup>1</sup>, 小森隆嗣<sup>1, 2</sup>, S.K. Biswas<sup>1</sup>, 王 麗<sup>1, 3</sup>, 横山耕治<sup>1</sup>, 伊藤純子<sup>1</sup>, 西村和子<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>千葉大・真菌センター, <sup>2</sup>藤沢薬品・物性研, <sup>3</sup>吉林大・白恩求医学部)
- P-G-20 DNA チップを用いたマラセチア属菌種同定システムの研究開発  
○山田 剛<sup>1, 2</sup>, 榎村浩一<sup>1, 2</sup>, 杉田 隆<sup>3</sup>, 内田勝久<sup>1, 2</sup>, 加納 壘<sup>4</sup>, 平井明香<sup>4</sup>, 長谷川篤彦<sup>4</sup>, 山口英世<sup>1, 2</sup>  
(<sup>1</sup>帝京大・医真菌研, <sup>2</sup>帝京大・ゲノム・リサーチセンター, <sup>3</sup>明治薬大・微生物, <sup>4</sup>日本大・獣医・臨病)
- P-G-21 *Cryptococcus neoformans* HSP 70 高発現の薬剤感受性への関与  
○掛屋 弘, 小林 奨, 宮崎泰可, 宮崎義継, 田代隆良, 河野 茂  
(長崎大・医・二内)

**(ポスターセッション 14:20~15:00 P-G-22~P-G-31)**

座 長: 福島和貴 (千葉大・真菌センター)

鈴木基文 (理研・微生物基盤/系統保存)

- P-G-22 *Cryptococcus neoformans* serotype AD の荚膜関連遺伝子を用いた系統関係  
○岡林 堅<sup>1</sup>, 加納 壘<sup>1</sup>, 中村遊香<sup>2</sup>, 渡辺晋一<sup>3</sup>, 長谷川篤彦<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>日大・獣医・臨病, <sup>2</sup>同・獣医・内科, <sup>3</sup>帝京大・医・皮)
- P-G-23 *Cryptococcus neoformans* CnBCK1 遺伝子の解析  
○清水公德, Antra Drivinya, 竹尾漢治 (千葉大・真菌センター)
- P-G-24 Construction of complete *URA5* deletion strain of human pathogenic yeast *Cryptococcus neoformans*  
○Antra Drivinya, 清水公德, 竹尾漢治 (千葉大・真菌センター)

- P-G-25 *Cryptococcus neoformans* ABC 輸送体 CneMdr1p の *Saccharomyces cerevisiae* での発現と薬剤耐性  
○仲村健二郎<sup>1</sup>, Erwin Lamping<sup>2, 3</sup>, 金子亜希<sup>3</sup>, 久和彰江<sup>1</sup>, 新見昌一<sup>3</sup>, 青木茂治<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>日本歯大・新潟・先端研, <sup>2</sup>ニュージーランド・オタゴ大・分子微生物学,  
<sup>3</sup>国立感染研・生物活性)
- P-G-26 *Cryptococcus neoformans* serotype AD 株における ITS 領域の塩基配列  
○勝 正和, 西村和子, 三上 襄 (千葉大・真菌センター)
- P-G-27 *Cryptococcus neoformans* の laccase 遺伝子 (CNLAC1) と血清型との相関について  
○田中英一郎<sup>1</sup>, 久和彰江<sup>2</sup>, 仲村健二郎<sup>2</sup>, 青木茂治<sup>2</sup>, 伊藤雅章<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>新潟大・医・皮, <sup>2</sup>日本歯大・新潟・先端研)
- P-G-28 *Cryptococcus neoformans* における銅耐性機構の分子メカニズム  
○近森 穰<sup>1</sup>, Valerio Vidotto<sup>2</sup>, 福島和貴<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>千葉大・真菌センター, <sup>2</sup>トリノ大・イタリア)
- P-G-29 Non-*neoformans* *Cryptococcus* spp. の多様性  
○高島昌子<sup>1</sup>, 鈴木基文<sup>1</sup>, 池田玲子<sup>2</sup>, 杉田 隆<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>理研・生物基盤/系統保存, <sup>2</sup>明治薬大・微生物)
- P-G-30 18SrDNA を鋳型とした広範囲深在性真菌症遺伝子診断法適用例の解析  
○植村浩一, 藤崎竜一, 茂田江理, 竹内保雄, 山口英世 (帝京大・医真菌研)
- P-G-31 主要病原真菌におけるミトコンドリア RNA 遺伝子塩基配列の樹形図解析  
○山田陽子<sup>1</sup>, 植村浩一<sup>2</sup>, 西山彌生<sup>2</sup>, 大隅正子<sup>2</sup>, 内田勝久<sup>2</sup>, 山口英世<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>日女大・理, <sup>2</sup>帝京大・医真菌研)